

報道発表



令和 4 年 1 1 月 3 0 日

ふりゅうおどり
「風流踊」のユネスコ無形文化遺産登録（代表一覧表記載）

モロッコにて開催中のユネスコ無形文化遺産保護条約第 17 回政府間委員会において、我が国より提案した「風流踊」の代表一覧表記載に関する審議が行われ、現地時間 1 1 月 3 0 日（水）（1 1 時 1 分 [日本時間 1 1 月 3 0 日（水）1 9 時 1 分]）、「記載」との決議がなされましたので、永岡文部科学大臣談話と併せてお知らせいたします。

1. 政府間委員会の審議結果

○「風流踊」について、「記載」の決議がなされた。

（参考）決議の 3 区分

- ・①「記載（Inscribe）」：記載するもの。
- ・②「情報照会（Refer）」：締約国に追加情報を求めるもの。
- ・③「不記載（Not to inscribe）」：記載にふさわしくないもの。

2. これまでの経緯

平成 2 1 年 9 月 ユネスコ無形文化遺産保護条約第 4 回政府間委員会において「チャッキラコ」が代表一覧表に「記載」の決議。

令和 2 年 3 月 「チャッキラコ」を拡張し、「風流踊」としてグループ化して提案。

令和 4 年 1 0 月 3 1 日（日本時間 1 1 月 1 日） 評価機関より「記載」の勧告。

令和 4 年 1 1 月 3 0 日（日本時間 1 1 月 3 0 日） 第 1 7 回政府間委員会において「記載」の決議。

＜担当＞ 文化庁文化資源活用課文化遺産国際協力室
 室長 大川（内線 4784）
 室長補佐 守山（内線 2414）
 無形文化遺産係 大平・伊賀（内線 4698）
 電話：03-5253-4111（代表）、03-6734-4698（直通）

「風流踊（ふりゅうおどり）」提案概要

1. 名 称

「風流踊（ふりゅうおどり）」

2. 内 容

華やかな、人目を惹く、という「風流」の精神を体現し、衣裳や持ちものに趣向をこらして、歌や、笛・太鼓・鉦（かね）などの囃子に合わせて踊る民俗芸能。除災や死者供養、豊作祈願、雨乞いなど、安寧な暮らしを願う人々の祈りが込められている。祭礼や年中行事などの機会に地域の人々が世代を超えて参加する。それぞれの地域の歴史と風土を反映し、多彩な姿で今日まで続く風流踊は、地域の活力の源として大きな役割を果たしている。

3. 分 野

民俗芸能

4. 構 成

国指定重要無形民俗文化財である 41 件（別紙のとおり）

※「チャッキラコ」の拡張提案

5. 保護措置

伝承者養成、記録作成、用具修理・新調、普及促進 等

6. 提案要旨

- 「風流踊」は、広く親しまれている盆踊や、小歌踊、念仏踊、太鼓踊など、各地の歴史や風土に応じて様々な形で伝承されてきた民俗芸能。華やかな、人目を惹くという「風流」の精神を体現し、衣裳や持ちものに趣向をこらして、笛、太鼓、鉦などで囃し立て、賑やかに踊ることにより、災厄を祓い、安寧な暮らしがもたされることを願うという共通の特徴をもつ。
- 世代を超え、地域全体で伝承されていることから、地域社会の核ともなる役割を果たしている。その起源は中世に由来し、時代に応じて変化しながら、今日まで伝承されている。長い伝統を背景に、特に災害の多い日本では、被災地域の復興の精神的な基盤ともなるなど、文化的な意味だけでなく、社会的な機能も有する。
- 各地で受け継がれてきた「風流踊」のユネスコ無形文化遺産代表一覧表への登録は、地域間の対話や交流を促進し、地域の人々の絆（きずな）としての役割をもつ無形文化遺産の保護・伝承の事例として、国際社会における無形文化遺産の保護の取組に大きく貢献する。

民俗芸能「風流踊」一覧(都道府県順)

都府県	名称	保護団体
岩手県	永井の大念仏剣舞(S55)盛岡市	永井大念仏剣舞保存会
	鬼剣舞(H5)北上市、奥州市	鬼剣舞連合保存会(岩崎鬼剣舞保存会、滑田鬼剣舞保存会、朴ノ木沢念仏剣舞保存会、川西大念仏剣舞保存会)
秋田県	西馬音内の盆踊(S56)雄勝郡羽後町	西馬音内盆踊保存会
	毛馬内の盆踊(H10)鹿角市	毛馬内盆踊保存会
東京都	小河内の鹿島踊(S55)西多摩郡奥多摩町	小河内の郷土芸能保存団体協議会
	新島の大踊(H17)新島村	新島大踊保存会、若郷大踊保存会
	下平井の鳳凰の舞(H18)西多摩郡日の出町	鳳凰の舞保存会
神奈川県	チャッキラコ(S51)三浦市三崎	ちゃっきらこ保存会
	山北のお峰入り(S56)足柄上郡山北町	お峯入り保存会
新潟県	綾子舞(S51)柏崎市	柏崎市綾子舞保存振興会
	大の阪(H10)魚沼市	大の阪の会
山梨県	無生野の大念仏(H7)上野原市	無生野大念仏保存会
長野県	跡部の踊り念仏(H12)佐久市	跡部踊り念仏保存会
	新野の盆踊(H10)下伊那郡阿南町	新野高原盆踊りの会
	和合の念仏踊(H26)下伊那郡阿南町	和合念佛踊り保存会
岐阜県	郡上踊(H8)郡上市	郡上踊り保存会
	寒水の掛踊(R3)郡上市	寒水掛踊保存会
静岡県	徳山の盆踊(S62)榛原郡川根本町	川根本町徳山古典芸能保存会
	有東木の盆踊(H11)静岡市	有東木芸能保存会
愛知県	綾渡の夜念仏と盆踊(H9)豊田市	綾渡夜念仏と盆踊り保存会
三重県	勝手神社の神事踊(H30)伊賀市	勝手神社神事踊保存会
滋賀県	近江湖南のサンヤレ踊り(R2)草津市、栗東市	草津のサンヤレ踊り保存協議会、小杖祭り保存会
	近江のケンケト祭り長刀振り(R2)守山市、甲賀市、東近江市、蒲生郡竜王町	近江のケンケト祭り長刀振り連合保存会
京都府	京都の六斎念仏(S58)京都市	京都六斎念仏保存団体連合会(梅津六斎保存会、吉祥院六斎保存会、空也念仏郡保存会、久世六斎保存会、小山郷六斎保存会、西院六斎念仏保存会、西方寺六斎念仏保存会、嵯峨野六斎念仏保存会、千本六斎会、中堂寺六斎会、壬生六斎念仏講中、上鳥羽橋上鉦講中、六波羅蜜寺空也踊躍念仏保存会、円覚寺六斎念仏講、桂六斎念仏保存会)
	やすらい花(S62)京都市	やすらい踊保存団体連合会(今宮やすらい会、上賀茂やすらい踊保存会、川上やすらい踊保存会、玄武やすらい踊保存会)
	久多の花笠踊(H9)京都市	久多花笠踊保存会
兵庫県	阿万の風流大踊小踊(H23)南あわじ市	阿万風流踊保存会
奈良県	十津川の大踊(H1)吉野郡十津川村	十津川村小原武蔵西川大踊保存会(小原踊保存会、武蔵踊保存会、西川踊保存会)
島根県	津和野弥栄神社の鷺舞(H6)鹿足郡津和野町	弥栄神社の鷺舞保存会
岡山県	白石踊(S51)笠岡市	白石踊会
	大宮踊(H9)真庭市	大宮踊保存会
徳島県	西祖谷の神代踊(S51)三好市	神代踊保存会
香川県	綾子踊(S51)仲多度郡まんのう町	佐文綾子踊保存会
	滝宮の念仏踊(S52)綾歌郡綾川町	滝宮念仏踊保存会
福岡県	感応楽(R2)豊前市	豊前感応楽保存会
長崎県	平戸のジャンガラ(H9)平戸市	平戸市自安和楽念仏保存振興会
	大村の沖田踊・黒丸踊(H26)大村市	沖田踊保存会、黒丸踊保存会
	対馬の盆踊(R3)対馬市	対馬盆踊保存連合会
熊本県	野原八幡宮風流(R3)荒尾市	風流節頭保存会
大分県	吉弘楽(H8)国東市	吉弘楽保存会
宮崎県	五ヶ瀬の荒踊(S62)西臼杵郡五ヶ瀬町	荒踊保存会

41件(24都府県、42市町村)

2003年(平成15年) **無形文化遺産保護条約** 採択〔2004(H16)年 日本締結(世界で3番目)、2006(H18)年 発効〕

【目的】 ■ 無形文化遺産の保護

■ 無形文化遺産の重要性及び相互評価の重要性に関する意識の向上 等

【内容】 ■ 「**人類の無形文化遺産の代表的な一覧表(代表一覧表)**」の作成

■ 「緊急に保護する必要がある無形文化遺産の一覧表」の作成

■ 無形文化遺産基金による国際援助 等

締約国数:180

我が国の無形文化遺産登録(代表一覧表記載)状況等 **現在 22件**
世界全体では530件

重要無形文化財 重要無形民俗文化財 登録無形文化財
選定保存技術 文化審議会決定

2008 (H20)	のうがく 能楽	にんぎょうじゅうりふんらく 人形浄瑠璃文楽	かぶき 歌舞伎
2009 (H21)	ががく 雅楽 おくのとのあえのこと 奥能登のあえのこと 【石川】 ちゃつきらこ チャッキラコ 【神奈川】	おぢやちぢみ・えちごじょうふ 小千谷縮・越後上布 【新潟】 はやちねかぐら 早池峰神楽 【岩手】 だいにちどうぶがく 大日堂舞楽 【秋田】	あきうのたうえおどり 秋保の田植踊 【宮城】 だいまくたて 題目立 【奈良】 あいぬこしきぶよう アイヌ古式舞踊 【北海道】
2010 (H22)	くみおどり 組踊	ゆうきつむぎ 結城紬 【茨城・栃木】	
2011 (H23)	みぶのはなたうえ 壬生の花田植 【広島】	さだしんのう 佐陀神能 【島根】	ほんみのし ちちぶまつりのやたいぎょうじとかぐら たかやままつりのやたいぎょうじ おがのなまはげ 【情報照会】本美濃紙、秩父祭の屋台行事と神楽、高山祭の屋台行事、男鹿のナマハゲ
2012 (H24)	なちのでんがく 那智の田楽 【和歌山】		
2013 (H25)	わしよく 和食 ；日本人の伝統的な食文化	にほんじんのでんとうきなしよくぶんか	
2014 (H26)	わし 和紙：日本の手漉和紙技術 【石州半紙、本美濃紙、細川紙】	にほんのてすきわしぎじゅつ せきしゅうばんし ほんみのし ほそかわし	※2009年に無形文化遺産に登録された石州半紙【島根】に国指定重要無形文化財(保持団体認定)である本美濃紙【岐阜】、細川紙【埼玉】を追加して拡張登録。
2016 (H28)	やまほこやたいぎょうじ 山・鉾・屋台行事	※2009年に無形文化遺産に登録された京都祇園祭の山鉾行事【京都】、日立風流物【茨城】に、国指定重要無形民俗文化財である秩父祭の屋台行事と神楽【埼玉】、高山祭の屋台行事【岐阜】など31件を追加し、計33件の行事として拡張登録。	
2018 (H30)	らいほうしん かめんかそうのかみがみ 来訪神：仮面・仮装の神々	※2009年に無形文化遺産に登録された甬島のトシドン【鹿児島】に、重要無形民俗文化財である男鹿のナマハゲ【秋田】、能登のアマメハギ【石川】、宮古島のパーントゥ【沖縄】、遊佐の小正月行事(アマハゲ)【山形】、米川の水かぶり【宮城】、見島のカセドリ【佐賀】、吉浜のスネカ【岩手】、薩摩硫黄島のメンドン【鹿児島】、悪石島のボゼ【鹿児島】を追加して拡張登録。	
2020 (R2)	でんとうけんちくこうしょうのわざ 伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術	もくぞうけんぞうぶつをうけつぐためのでんとうきじゅつ	※2009年に提案したものの未審査となっていた国の選定保存技術「建造物修理・木工」に「檜皮葺・柿葺」「建造物装飾」等を追加し、計17件の技術として登録。
提案中	ふりゅうおどり 風流踊	※2009年に無形文化遺産に登録されたチャッキラコ【神奈川】に、国指定重要無形民俗文化財である綾子踊【香川】などを追加して拡張提案。 ※ 2022(R4)年11～12月審議予定	
提案中	でんとうてきさけづくり 伝統的酒造り：日本の伝統的なこうじ菌を使った酒造り技術	にほんのでんとうてきさけづくり	

登録までの流れ

- 締約国からユネスコに申請(毎年3月)
[各年、約60件の審査件数の制限]
* 無形文化遺産の登録のない国の審査を優先
* 我が国の案件は実質2年に1回の審査となっている
- ↓
- 評価機関による審査
- ↓
- 政府間委員会において決定(翌年11月頃)
- ① 記載(inscribe)
- ② 情報照会(refer)⇒ 追加情報の要求
- ③ 不記載(not to inscribe)

登録基準 <無形文化遺産保護条約運用指示書(抜粋)>

- 申請国は、申請書において、代表一覧表への記載申請案件が、次のすべての条件を満たしていることを証明するよう求められる。
- 1. 申請案件が条約第2条に定義された「無形文化遺産」を構成すること。
 - (a) 口承による伝統及び表現 (b) 芸能 (c) 社会的慣習、儀式及び祭礼行事
 - (d) 自然及び万物に関する知識及び慣習 (e) 伝統工芸技術
- 2. 申請案件の記載が、無形文化遺産の認知、重要性に対する認識を確保し、対話を誘発し、よって世界的に文化の多様性を反映し且つ人類の創造性を証明することに貢献するものであること。
- 3. 申請案件を保護し促進することができる保護措置が図られていること。
- 4. 申請案件が、関係する社会、集団および場合により個人の可能な限り幅広い参加および彼らの自由な、事前の説明を受けた上での同意を伴って提案されたものであること。
- 5. 条約第11条および第12条に則り、申請案件が提案締約国の領域内にある無形文化遺産の目録に含まれていること。

おうみこなん

近江湖南のサンヤレ踊り

指定年：2020（令和2）年

保護団体：草津のサンヤレ踊り保存協議会、小杖祭り保存会

保護団体の所在地：滋賀県草津市、栗東市

概要：滋賀県草津市および栗東市に伝承され、市内各地の神社祭礼で踊られている。華やかに趣向を凝らした出で立ちの子供たちを主体とした踊りで、打楽器を中心とした楽器群を有し、子供たちがそれらを奏しつつ踊り、笹や榊、扇子などの採物を持った周囲の囃し手が「サンヤレ サンヤレ」と囃し歌うもので、中世後期の祭礼芸能の姿を今に窺わせる。近世農村に定着し伝承されるなかで、災いを祓うとともに五穀豊穡の願いを込めて行われるようになった。



近江のケンケト祭り^{なぎなたふり}長刀振り

指定年：2020（令和2）年

保護団体：近江のケンケト祭り長刀振り連合保存会

保護団体の所在地：滋賀県守山市、甲賀市、東近江市、蒲生郡竜王町

概要：滋賀県守山市、甲賀市、東近江市、蒲生郡竜王町に伝承される祭礼芸能で、多くはケンケト祭りと呼ばれる各地の春祭りで行われる。少年たちによる楽器を奏しながらの踊りに、長刀踊りや棒振りが付随し、これらは神輿や傘鉾の巡行と共に地区を巡り踊る。神幸行列に「花」や「鷲」と呼ぶ鉾が付随することも特色の一つである。芸能の構成内容から中世後期にみられる祭礼芸能の姿を窺わせ、「花」に付いた造花や、「鷲」に付いた飾りの奪い合い、最後に「鷲」を壊すといった習俗は、中世後期の祭礼芸能の疫神祓いの性格も窺わせる。



令和5年1月20日

文化審議会の答申（重要有形民俗文化財の指定等）

文化審議会（会長 さとう まこと 佐藤 信）は、1月20日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、重要有形民俗文化財として1件、重要無形民俗文化財として3件を指定等すること及び登録有形民俗文化財として2件、登録無形民俗文化財として2件を登録することについて文部科学大臣に、また、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として3件を選択することについて文化庁長官に、それぞれ答申しましたのでお知らせします。

この結果、官報告示の後に、重要有形民俗文化財は226件、重要無形民俗文化財は329件、登録有形民俗文化財は49件、登録無形民俗文化財は4件、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財は654件となる予定です。

詳しくは、別添の資料「Ⅰ．答申内容」「Ⅱ．解説」「Ⅲ．参考」をご覧ください。

＜担当＞文化庁文化財第一課

課長	齋藤 憲一郎（内線 2884）
課長補佐	山田 隆志（内線 2933）
主任文化財調査官（民俗文化財部門）	前田 俊一郎（内線 2868）
主任文化財調査官（芸能部門）	吉田 純子（内線 2866）
審議会係	田中 裕香（内線 2887）
	電話：03-5253-4111（代表）
	03-6734-2887（直通）

I. 答申内容（11件）

1. 重要有形民俗文化財の指定（新規1件）

名 称 及 び 員 数	所 有 者	所有者の住所
りくぜんたかた ぎょうろうようぐ 陸前高田の漁撈用具 3, 028点	りくぜんたかたし 陸前高田市	りくぜんたかたし 岩手県 陸前高田市

2. 重要無形民俗文化財の指定等（新規2件、内容等変更1件）

（1）重要無形民俗文化財指定（2件）

名 称	所 在 地	保 護 団 体
かわのくるまにんぎょう 川野車 人形	にしまぐん おくたままち 東京都 西多摩郡 奥多摩町	おごうちきょうどげいのう 小河内郷土芸能 保存団体協議会
いしづちくろちゃ 石鎚 黒茶の製造技術	さいじょうし 愛媛県 西条市	いしづちくろちゃ 石鎚 黒茶 製造技術保存会

（2）重要無形民俗文化財の指定内容及び名称の変更（1件）

名 称	所 在 地	保 護 団 体
めら かぐら 米良の神楽	さいとし こゆぐん 宮崎県 西都市、児湯郡 きじょうちょう こゆぐん にしめらそん 木城町、児湯郡 西米良村	しろみ かぐら 銀鏡 神楽 保存会、おはえかぐら 尾八重 神楽 保存会、なかのまたかぐら 中之又 神楽 保存会、 にしめらそん かぐら 西米良村 神楽 保存会連合会

3. 登録有形民俗文化財の登録（新規2件）

名 称 及 び 員 数	所 有 者	所有者の住所
すわ げ た 諏訪の下駄 スケートコレクション 130点	しもすわまち 下諏訪町	すわぐん 長野県 諏訪郡 しもすわまち 下諏訪町
こうか 甲賀 売薬の製造・販売用具 2, 488点	こうかし 甲賀市	こうかし 滋賀県 甲賀市

4. 登録無形民俗文化財の登録（新規2件）

名 称	所 在 地	保 護 団 体
の と 能登のいしる・いしり製造技術	石川県	特定せず
おうみ 近江のなれずし製造技術	滋賀県	特定せず

5. 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財の選択（新規3件）

名 称	所 在 地	保 護 団 体
おおやま 大山 こまの製作技術	いせはらし 神奈川県 伊勢原市	いせはらし おおやま 伊勢原市 大山こま製作技術保存会
きたうらち ほう 北浦 地方のサバー送り	ながとし しものせきし 山口県 長門市・下関市	特定せず
おおしらき い こ 大白木の亥の子さま	からつし 佐賀県 唐津市	おおしらき 大白木こどもクラブ

②^{こう か ばい や く}甲 賀 売 薬 の 製 造 ・ 販 売 用 具

○所 有 者 ^{こう か し}甲 賀 市 （^{こう か し}甲 賀 市 くすり学 習 館 保 管）

○所有者の住所 ^{こう か し}滋 賀 県 甲 賀 市

○員 数 2, 4 8 8 点

○文化財の概要

【登録の趣旨】

我が国における^{はい ち ばい や く}配置 売 薬 は、近世中期以降、越中富山をはじめ、大和や近江、肥前田代などの地域で発達し、「おきぐすり」の名称で家庭薬として広く愛用され、近代医療が普及するまでの間、地域の保健衛生を支え続けてきた。

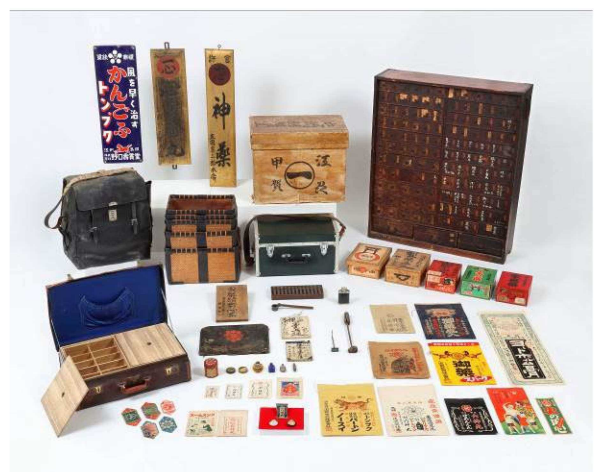
本件は、こうした売薬業の成立や地域的な展開をよく示す資料群であり、甲賀における製薬の実態に加え、^{やまぶし}山 伏 の^{はい さ つ}配 札 に由来する売薬商人の活動の実態をうかがうことができる。当地の産業を理解する上で、また、我が国における薬業の変遷や交易を考える上で注目される。

【文化財の説明】

本件は、近江売薬の一つで、配置売薬として知られる「甲賀売薬」の製造と販売に使用された用具の収集である。当地の売薬業は、甲賀の山伏が各地での布教の際に、土産物として薬を携行したことに始まるとされ、近代以降、甲賀地域の主要な産業として発展した。本収集は、薬種の選別や調合、製丸などの薬製造の各工程で使用された用具と、行商時に用いた鞆類や携行品などの配置売薬用具のほか、得意先で配布した商品の広告類などから構成される。



【製造用具】



【販売用具】

②^{おうみ}近江のなれずし製造技術

- 文化財の所在地 滋賀県
- 保護団体 特定せず
- 文化財の概要

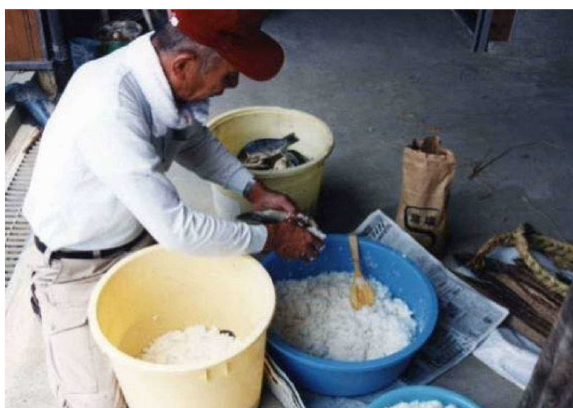
【登録の趣旨】

魚を発酵させて作る「なれずし」は、近世に酢飯を用いた早ずしが普及する以前からある古い形態である。本件は、その代表的な伝承例であり、歴史も古く、現在も滋賀県一円で広く製造され続けている。琵琶湖と周辺の河川で豊富に獲れる魚を利用し、長期の保存に適するように加工するその製造技術には、地域的特色が顕著であり、我が国におけるすしの調製技術や発酵食品の製造技術の変遷を考える上で注目される。

【文化財の説明】

本件は、琵琶湖及びその周辺の河川で獲れる淡水魚を使い、乳酸発酵させた「なれずし」の製造技術である。ニゴロブナで作る鮒ずしがよく知られているが、フナだけでなく、ハスやモロコ、アユ、ドジョウなど多様な魚を材料として作られる。酸味の強い独特の風味を持ち、主に正月や祭りなどの行事の際に食される。

その製法は、フナの場合、ウロコや内臓を取り除いた魚を塩と米飯で一定の期間漬け込み、発酵を進ませて作る。ハスやモロコなどの小型の魚の場合は、漬け込む日数は短期間で、またコイやマスなどの大型の魚の場合は、大きい骨を取り除くなどしてから漬け込むなど、魚種や魚体の大小に応じた作り方が伝承されている。



【なれずしの製造風景】



【鮒ずし】

Ⅲ. 参考

○重要有形民俗文化財の指定件数

	現在の件数	今回の答申件数	指定後の件数
		新規指定	
重要有形民俗文化財	225件	1件	226件

○重要無形民俗文化財の指定件数

	現在の件数	今回の答申件数	指定後の件数
		新規指定	
重要無形民俗文化財	327件	2件	329件

○登録有形民俗文化財の登録件数

	現在の件数	今回の答申件数	登録後の件数
		新規登録	
登録有形民俗文化財	48件	2件	49件

※「陸前高田の漁撈用具」の重要有形民俗文化財指定に伴う、既登録の抹消を反映

○登録無形民俗文化財の登録件数

	現在の件数	今回の答申件数	登録後の件数
		新規登録	
登録無形民俗文化財	2件	2件	4件

○記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財の選択件数

	現在の件数	今回の答申件数	選択後の件数
		新規選択	
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	651件	3件	654件